

栄誉をたたえて 俱知安町スポーツ表彰

町教育委員会では、前年度に各種スポーツ競技において活躍した選手・団体に俱知安町スポーツ表彰を授与しています。今年度は、スポーツ栄誉賞に2個人、スポーツ賞に1個人と1団体、スポーツ奨励賞に17個人と5団体が選ばれ、11月4日（土）に授与式が行われました。（かっこ内は競技名、敬称略、成績略）

スポーツ栄誉賞

過去にスポーツ賞を受賞し、かつ町を代表する選手として全国大会に優勝した個人またはチーム
住吉 輝紗良（フリースタイルスキー）
小川 規子（パークゴルフ）

スポーツ賞

町を代表する選手として全道大会に優勝、もしくは全国大会に上位の成績を収めた個人またはチーム
湊屋 幸菜（陸上競技）
後志地方銃剣道連盟俱知安支部

スポーツ奨励賞

町を代表する選手として全道大会に上位の成績を収めた者、もしくは管内大会に優勝した個人またはチーム
木村 勝豊（銃剣道）
木村 信雄（銃剣道）
齋藤 純夫（銃剣道）
川中 朝陽（陸上競技）
土谷 香恋（陸上競技）
三上 朝弥（クロスカントリースキー）



大野 加鈴（水泳）
カー なおみ（水泳）
佐藤 晏人（水泳）
盛合 凜華（陸上競技）
小松 瑞歩（陸上競技）
成田 友哉（陸上競技）
カー 涯（陸上競技）
門馬 怜生（陸上競技）
高橋 那月（陸上競技）
新井 朝海（陸上競技）
川口 奨士（陸上競技）
俱知安バレーボール少年団
俱知安中学校陸上部
俱知安中学校バドミントン部
俱知安中学校水泳部
北部方面対舟艇対戦車隊

29年間ありがとう ニセコエクスプレス

1988年（昭和63年）に運行を開始し、主に札幌から俱知安を目指す多くのスキー客を運んできたJR北海道のリゾート列車「ニセコエクスプレス」が29年の歴史に幕を閉じました。

10月29日（日）、11月3日（金・祝）、4日（土）の3日間はニセコエクスプレストラストランとして、札幌～蘭越間の各駅でさまざまなイベントが行われ、11月4日の札幌へ向かう最終の時間には、列車の到着前からその姿を見ようと、ホームに人が集まっており、列車の到着に合わせ羊蹄太鼓保存会「鼓流」による演奏が俱知安駅に鳴り響きました。

また、この日は町のマスコットキャラクターのじゃが太くん・じゃが子ちゃんも駅のホームに登場し、別れを惜しむ住民や鉄道ファンとともに、引退するニセコエクスプレスの姿と、乗り込んだ多くの乗客を見送りました。



冬も元気に運動を！ 小学生スポーツ教室

10月26日（木）、町総合体育館で小学校1・2年生を対象としたスポーツ教室（町教育委員会主催）が開催され、町のスポーツ推進委員およびスポーツ指導員が、集まった約40名の子どものための指導に当たりました。

この日のスポーツ教室は、ボールを投げる際の体の使い方などを中心に進められ、一列に並んでのボールの受け渡しに始まり、内野と外野に分かれ外野が転がしたボールを内野がよけるといった運動や、ボールをバウンドさせて投げる運動などが行われました。

指導に当たった町スポーツ推進委員は「気温が下がってくると、子どもたちが外で体を動かして遊ぶ機会が減ってしまいがちですが、俱知安ではこれから小学生ドッジボール大会（11月4日（土）開催、本号2ページ「まちの話題」に掲載）が開催されることもあり、今回の投げる運動の教室は、子どもたちにとって良い練習の機会になったと思います」と話していました。



町民みんなのスキー場 旭ヶ丘スキー場は12月23日オープン予定です

■営業期間／12月23日（土）～平成30年3月4日（日）※積雪の状況により変更する場合があります
■ナイター営業日／毎週火・木曜日（火・木曜日が休業となった場合は翌日ナイター営業、12月23・27・29日、平成30年2月17日
■町民無料デー／12月23日、平成30年1月14日、平成30年2月17・18日、平成30年3月4日
■休業日／毎週月曜日※月曜日が祝祭日の場合はその翌日
■営業時間／
【通常営業日】
9時～16時（リフト最終15時45分）
【ナイター営業日】
9時～21時（リフト最終20時45分）
※スキー大会の実施などにより変更する場合があります

町内の小学生以下はリフト無料
町内に住民登録のある小学6年生以下の子どもは、リフト使用料が無料です。
受付票に記入し、券売所に提出すると町民利用者カードの入った腕章を渡しますので、リフトを利用する際は必ず腕に付け、帰りには券売所に返却してください。

小学生ナイタースキー教室

「楽しく、もっと上達コース」
経験豊かなインストラクターが指導に当たります。
■日時／平成30年1月10日（水）～11日（木）、18時～20時
■会場／旭ヶ丘スキー場
■募集人員／先着50名
■参加料／700円（保険料込）
■締切／平成30年1月7日（日）
■申込方法／申込書と参加料を持参の上、町総合体育館へ
■町総合体育館 ☎22―2288

平成29年12月						
日	月	火	水	木	金	土
						23
24	25	26	27	28	29	30
31						
平成30年1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
平成30年2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		
平成30年3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4					

通常営業日
ナイター営業日
休業日
赤字 町民無料デー

絵画コンクール ふるさとを描こう

小川原脩記念美術館が、絵画コンクール「ふるさとを描こう」を開催しました。第10回となった今年は、後志管内12の小学校から62点の応募があり、その中から全18点を「ふるさと賞」として選考しました。町内の受賞者と受賞校は次のとおりです。（かっこ内は学校名、敬称略）

ふるさと賞

廣瀬 雄介（俱知安小1年）
荒木 柊（東小2年）
芦田 一瑚（東小3年）
小野 耀大（俱知安小4年）
荒木 宙（東小4年）
船山 隼颯（北陽小5年）
川本 悠月（北陽小5年）
小池 蓮（北陽小6年）
辻 裕輝（北陽小6年）
佐藤 歩実（俱知安小6年）

学校賞

北陽小学校



▲11月3日（金・祝）表彰式で作品の講評を述べる徳丸滋さん（右）

在サンモリッツ通信員 ズーズイー氏に決定

俱知安町とスイスサンモリッツ市は、昭和39年に姉妹都市提携を結んで以来、中高生を相互に派遣し合う青少年交流事業などの交流が続いています。青少年交流に関する連絡調整や現地での案内などを通じてこの事業を支えてくれるのが在サンモリッツ通信員の存在です。平成9年から20年にわたり在サンモリッツ通信員を務めていたラインハルト・ポーリンガー氏が今年辞任し、新たにズーズイー・ヴィトゥレヒティガー氏が就任しました。

新・在サンモリッツ通信員



ズーズイー・ヴィトゥレヒティガーさん

水泳とスキーが得意な女性です。平成26年11月には、サンモリッツ市と神奈川県箱根町との友好都市提携調印に際し、同市の代表として日本を訪れており、また近年は俱知安からの代表団に対し現地での案内をしています。

「税を考える週間」11月11日～17日 子どもたちも税金への理解を深めました

11月11日から17日の一週間は、毎年「税を考える週間」で、全国で税に関係するさまざまな取り組みが行われています。

11月13日（月）には小学4年生から6年生までを対象に、毎日の暮らしの中の税金の役割を知り、理解と関心を深めることを目的に平成21年度から実施している「税に関する絵はがきコンクール」（公社）南後志法人会女性部会）において北海道法人会連合会女性部会連絡協議会会長賞と最優秀賞を受賞した荒川桃百さん（西小6年）と倶知安税務署長賞を受賞した楠桃華さん（西小5年）の作品に対する表彰式が西小学校校長室で行われ、角田博子部会長と倶



最優秀賞	荒川 桃百	西小6年
優秀賞	北原 かのん	西小樺山分校5年
	瀬川 光貴	東小4年
	松井 咲恵	東小5年
税務署長賞	楠 桃華	西小5年

▶写真左から、山之内署長、楠さん、荒川さん、角田部会長、渋谷校長

知安税務署山之内誠二署長から、表彰状と記念品がそれぞれに手渡されました。

また、11月17日（金）には、将来を担う中学生が税に関することをテーマとした作文を書くことを通じて、税についての関心と正しい理解を深めることを目的に実施している中学生の「税についての作文」において倶知安税務署長賞を受賞した斉藤颯太さん（俱中1年）の表彰式が倶知安中学校会議室で行われました。

「税金の使われ方について」と題した作文で受賞した斉藤さんは山之内署長から表彰状と記念品を受け取り、「この作文を書くために、税金について調べたりしたこと、改めてその大切さが分かりました」と話していました。



第6次総合計画 ワークショップ開催

町では、平成32年度からスタートする「第6次倶知安町総合計画」の策定に向け、準備を進めています。総合計画は、町民をはじめ町に関わる全ての人が協力してまちづくりを行うための指針となるものです。計画の策定に向けて町は、5月に町民アンケートを行い、策定委員会を開催するほか、その基本構想をまとめるにあたり役場職員による庁内ワークショップと町民による町民ワークショップを設置しました。

10月30日（月）

には第1回町民ワークショップが開催され、今後の本格的な作業に向けての第一歩として、それぞれが打ち解けるための議論やブレゼンテーションが行われました。このワークショップは今後4～5回程度行われる予定で、その様子を含めアンケート結果や策定委員会の内容など、詳しくは町ホームページに掲載しています。



町総合政策課 ☎56—80001
http://www.town.kutchan.jp/town_administration/matidukuri/2698/

各施設の休業日

施設名	休業日
役場	12月30日（土）～1月8日（月）
保健福祉会館	
子育て支援センター	
公民館	12月31日（日）～1月5日（金）
絵本館	
世代交流センター	12月27日（水）～1月5日（金）
公民館図書室	12月28日（木）～1月5日（金）
総合体育館	12月30日（土）～1月5日（金）
学校夜間開放	12月30日（土）～1月8日（月）
旭ヶ丘スキー場	12月31日（日）～1月1日（月）
小川原脩記念美術館	12月30日（土）～1月5日（金）
倶知安風土館	
倶知安斎場	1月1日（月）～2日（火）
国・道の機関	12月29日（金）～1月3日（水）

年末年始施設の休業とごみの収集について

1月5日は窓口を臨時開設します

年末から年始にかけて役場ほか町内各施設は、表《各施設の休業日》のとおり休業しますのでお知らせします。なお、役場と保健福祉会館については10日間の休業となることから次のとおり窓口を臨時開設します。一部の窓口を除き、平日同様の各種届出と対応が可能です。

■臨時窓口開設日時／

平成30年1月5日（金）9時～13時

■開設窓口／

《役場庁舎》住民環境課住民係（証明書などの発行に限る）・福祉医療課国保医療係・税務課・出納室・水道課総務係

《保健福祉会館》福祉医療課

ごみの収集など

	12月			1月									
	29日(金)	30日(土)	31日(日)	1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)	8日(月)	9日(火)	
ごみの収集	通常	通常	休み	休み	休み	休み	通常	通常	通常	休み	通常	通常	
清掃センター 資源リサイクルセンター	通常	15時で 受入終了	休み	休み	休み	休み	通常	通常	通常	休み	通常	通常	
エコガレージ	通常	通常	通常	休み	休み	休み	休み	通常	通常	通常	休み	休み	

北海道新幹線ニツ森トンネル工事

トラックの往来にご注意ください

本年7月から始まったニツ森トンネル（鹿子）工事に伴う発生土については、これまで町内峠下の仮置場へ運搬していましたが、11月から当初の受入地であった花園牧場への運搬を開始しました。運搬に係るトラックの運行経路は以下のとおりとなります。通行の際はご注意ください。



図熊谷・大本・橋本川島・和工特定建設工事企業体

☎21—2681

防災に関するお知らせ

大雪や暴風雪に備えましょう

冬は、北海道付近を低気圧が通過する時や冬型の気圧配置で季節風が強まる時などに大雪や暴風雪となります。また石狩湾付近に小さな低気圧が発生すると局地的に短時間で大雪や暴風雪になることがあります。これにより、道路の通行止めや交通機関の運休、車が立ち往生して身動きが取れなくなることなどがあり、また雪崩や停電の発生にもつながります。

札幌管区気象台では、大雪などの影響により重大な災害の恐れがあると予想した場合には、それぞれ「大雪警報」や「暴風雪警報」を発表します。また気象台は関係機関と共同で「暴風雪への備え」に関するリーフレットを作成しています。これらの情報を有効に活用して、大雪や暴風雪による災害に備えましょう。

図札幌管区気象台天気相談所

☎011—611—0170

HP：<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/boufusetu/boufusetu.html>



▲住民環境課で町指定ごみ袋をていねいに折りたたみ、転入者配付用に包装する生徒たち

俱中2年生が 町内各所で職場体験

10月25日（水）から27日（金）の3日間、倶知安中学校がインターンシップを実施し、同校2年生が町内にある事業所で働くことを体験しました。

役場住民環境課で職場体験をした生徒は、11月6日（月）まで行われていたまちづくり懇談会で配付するための資料作成などを手伝い、携わった男子生徒は、「町民の皆さんの手に渡る大切なものなので、間違えないように注意を払って作業するのが大変でした」と話していました。

また、農林課・農業委員会で認定農業者農産物即売会（10月28日（土）役場前にて実施）の準備として野菜の選別や運搬などを行った生徒は、「公務員の仕事というデスクワークが中心だと思っていましたが、部署によっては肉体労働も多いことを実感しました」と話していました。